



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日

上場会社名 ディーブイエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 宮本 聡 TEL 03-5985-6832
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	44,653	10.6	1,115	△9.8	1,123	△15.6	792	△18.7
2019年3月期	40,380	5.5	1,237	△6.3	1,331	△1.1	974	13.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	75.56	—	10.5	5.8	2.5
2019年3月期	88.46	—	13.1	7.3	3.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	20,367	7,566	37.2	736.24
2019年3月期	18,638	7,461	40.0	689.18

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,561百万円 2019年3月期 7,461百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,045	△362	△746	5,232
2019年3月期	290	△195	△909	5,298

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	259	27.1	3.6
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	246	31.8	3.4
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の策定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	11,280,000株	2019年3月期	11,280,000株
2020年3月期	1,002,644株	2019年3月期	452,621株
2020年3月期	10,481,747株	2019年3月期	11,012,316株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、現時点で業績予想を合理的に算出することが困難であることから、2021年3月期の業績予想につきましては未定としております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用所得環境の改善が続き穏やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策が与える世界経済への影響や海外情勢の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による金融資本市場の変動の影響により、先行きは不透明な状況となっております。

医療機器業界におきましては、消費増税、保険償還価格の改定に伴い医療機関からは経営環境改善のため、コスト意識の高まりによる値下げ要請など様々なニーズへの対応が求められ、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような情勢のもと、当社では、販売代理店としては既存顧客の深耕と営業エリアの拡大を進めるとともに、仕入先メーカーとのインセンティブ契約の締結など利益率改善にも取り組みました。また総代理店としては独自商品の販売拡大と新商材の獲得に努めることで、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は44,653,770千円（前期比10.6%増）、営業利益1,115,780千円（同9.8%減）、経常利益1,123,608千円（同15.6%減）、当期純利益792,028千円（同18.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

セグメントの名称	前事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		当事業年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
不整脈事業	35,397,759	87.7	38,748,516	86.8	3,350,757	9.5
虚血事業	3,647,628	9.0	3,983,473	8.9	335,845	9.2
その他	1,334,701	3.3	1,921,779	4.3	587,077	44.0
合計	40,380,089	100.0	44,653,770	100.0	4,273,680	10.6

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、アブレーション（心筋焼灼術用）治療用カテーテル類や検査用電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加したことから、当事業年度の売上高は38,748,516千円（前期比9.5%増）、セグメント利益は4,392,207千円（同3.1%増）となりました。

② 虚血事業

販売代理店としての販売が増加したほか、国内総代理店として取り扱っているエキシマレーザ関連商品の販売が堅調に推移したことにより売上高は増加しましたが、移管業務委託収入が減少したことから、当事業年度の売上高は3,983,473千円（前期比9.2%増）、セグメント利益は859,973千円（同20.7%減）となりました。

③ その他

外科、脳外科関連商品等が好調に推移したほか、自社企画品も堅調に推移したことから、当事業年度の売上高は1,921,779千円（前期比44.0%増）、セグメント利益は282,527千円（同52.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(イ)流動資産

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末と比較して1,620,113千円増加し、18,831,681千円となりました。その主な要因は、現金及び預金は65,471千円減少しましたが、売掛金が1,116,144千円、電子記録債権が261,335千円、商品が411,322千円増加したこと等によるものです。

(ロ)固定資産

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末と比較して108,630千円増加し、1,535,505千円となりました。その主な要因は、車両運搬具が39,349千円、工具、器具及び備品が103,681千円増加したこと等によるものです。

(ハ)流動負債

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末と比較して1,687,335千円増加し、12,373,959千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が209,000千円減少しましたが、買掛金が1,781,192千円、未払消費税等が73,583千円増加したこと等によるものです。

(ニ)固定負債

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末と比較して63,179千円減少し、426,678千円となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金が56,804千円減少したこと等によるものです。

(ホ)純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して104,588千円増加し、7,566,549千円となりました。その主な要因は、当期純利益により792,028千円増加する一方、自己株式の取得により431,771千円、配当金の支払いにより259,857千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得1,045,392千円、投資活動による資金の支出△362,299千円、財務活動による資金の支出△746,822千円等により、前事業年度末と比較して△65,471千円減少し、5,232,708千円（前期比1.2%減）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前当期純利益1,096,912千円に加え、減価償却費282,904千円、仕入債務の増加1,781,192千円等の収入要因があった一方、売上債権の増加△1,266,131千円、たな卸資産の増加△466,555千円、法人税等の支払額△516,570千円等の支出要因により、1,045,392千円の資金の獲得（前期は290,272千円の資金の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出△367,956千円等の支出要因により、△362,299千円の資金の支出（前期は△195,215千円の資金の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得による支出△431,771千円、配当金の支払額△259,251千円等の支出要因により、△746,822千円の資金の支出（前期は△909,686千円の資金の支出）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	39.9	41.3	41.8	40.0	37.2
時価ベースの自己資本比率(%)	81.4	91.1	80.8	55.5	45.9
債務償還年数(年)	0.1	0.1	0.1	0.3	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	2,254.9	3,922.2	3,812.2	790.2	5,373.7

(注) 1 各指標は以下の計算式により算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内外の経済に大きな影響を及ぼしております。

このような状況のもと、当社は、顧客、取引先及び従業員の安全を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響には十分な注意を払いながら、営業活動や商品開発に努め、影響が最小限となるよう取り組んでまいります。しかしながら、当社が属する医療機器業界では、重篤で緊急性が高い治療が確実に行われる体制を維持するために、待機的な治療など緊急性の低い治療については可能な限り延期とするなどの対策が執られており、現時点において新型コロナウイルス感染症が収束する時期や症例数の減少など業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、業績予想は未定とさせていただきます。

業績予想につきましては、今後開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

なお、2020年4月の販売実績は前年同月比で△19.6%となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の事業展開のために必要な内部留保資金を確保しつつ、株主に対して継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、2020年3月期の配当金につきましては、1株当たり24円(配当性向31.8%)の普通配当を実施することといたしました。

なお、次期の配当については、業績予想が開示可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,298,179	5,232,708
受取手形	223,186	111,837
電子記録債権	1,296,824	1,558,159
売掛金	8,704,271	9,820,415
商品	1,382,009	1,793,332
前払費用	62,217	78,974
その他	246,179	237,654
貸倒引当金	△1,300	△1,400
流動資産合計	17,211,568	18,831,681
固定資産		
有形固定資産		
建物	141,116	126,305
減価償却累計額	△74,383	△75,451
建物(純額)	66,732	50,853
車両運搬具	10,413	47,231
減価償却累計額	△10,376	△7,845
車両運搬具(純額)	36	39,386
工具、器具及び備品	1,384,173	1,641,458
減価償却累計額	△717,399	△871,002
工具、器具及び備品(純額)	666,774	770,455
土地	55,000	55,000
有形固定資産合計	788,543	915,695
無形固定資産		
ソフトウェア	44,206	24,381
無形固定資産合計	44,206	24,381
投資その他の資産		
投資有価証券	983	-
出資金	130	130
長期貸付金	33,000	21,000
破産更生債権等	-	2,216
長期前払費用	17,646	19,896
差入保証金	251,764	253,502
繰延税金資産	290,600	300,900
貸倒引当金	-	△2,216
投資その他の資産合計	594,125	595,428
固定資産合計	1,426,875	1,535,505
資産合計	18,638,443	20,367,187

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,807,078	11,588,271
1年内返済予定の長期借入金	55,799	29,527
未払金	198,613	216,299
未払費用	56,033	68,117
未払法人税等	308,000	99,000
未払消費税等	19,486	93,070
前受金	11,883	16,736
預り金	7,375	16,306
賞与引当金	222,354	246,630
流動負債合計	10,686,624	12,373,959
固定負債		
長期借入金	31,205	1,678
退職給付引当金	325,077	354,195
役員退職慰労引当金	125,381	68,577
資産除去債務	1,694	1,728
その他	6,500	500
固定負債合計	489,858	426,678
負債合計	11,176,482	12,800,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金		
資本準備金	314,730	314,730
資本剰余金合計	314,730	314,730
利益剰余金		
利益準備金	4,710	4,710
その他利益剰余金		
別途積立金	250,000	250,000
繰越利益剰余金	7,171,831	7,704,003
利益剰余金合計	7,426,541	7,958,713
自己株式	△624,425	△1,056,197
株主資本合計	7,461,304	7,561,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	656	-
評価・換算差額等合計	656	-
新株予約権	-	4,845
純資産合計	7,461,960	7,566,549
負債純資産合計	18,638,443	20,367,187

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	40,380,089	44,653,770
売上原価		
商品期首たな卸高	1,135,048	1,382,009
当期商品仕入高	35,224,266	39,528,492
合計	36,359,315	40,910,502
他勘定振替高	128,498	△1,890
商品期末たな卸高	1,382,009	1,793,332
商品売上原価	34,848,806	39,119,061
売上総利益	5,531,283	5,534,709
販売費及び一般管理費	4,294,070	4,418,928
営業利益	1,237,212	1,115,780
営業外収益		
受取利息	481	310
受取配当金	21	21
受取保険金	78,143	7,368
為替差益	14,612	207
デリバティブ評価益	300	-
その他	1,277	2,349
営業外収益合計	94,836	10,256
営業外費用		
支払利息	380	212
貸倒引当金繰入額	-	2,216
営業外費用合計	380	2,428
経常利益	1,331,668	1,123,608
特別利益		
固定資産売却益	-	925
投資有価証券売却益	21,739	959
特別利益合計	21,739	1,885
特別損失		
固定資産除却損	5,339	1,500
減損損失	-	27,080
特別損失合計	5,339	28,580
税引前当期純利益	1,348,069	1,096,912
法人税、住民税及び事業税	434,918	314,894
法人税等調整額	△61,029	△10,010
法人税等合計	373,888	304,884
当期純利益	974,181	792,028

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	6,457,032	6,711,742
当期変動額							
剰余金の配当						△259,381	△259,381
当期純利益						974,181	974,181
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	714,799	714,799
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	7,171,831	7,426,541

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	△618	7,370,312	1,042	1,042	7,371,354
当期変動額					
剰余金の配当		△259,381			△259,381
当期純利益		974,181			974,181
自己株式の取得	△623,806	△623,806			△623,806
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△386	△386	△386
当期変動額合計	△623,806	90,992	△386	△386	90,606
当期末残高	△624,425	7,461,304	656	656	7,461,960

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	7,171,831	7,426,541
当期変動額							
剰余金の配当						△259,857	△259,857
当期純利益						792,028	792,028
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	532,171	532,171
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	7,704,003	7,958,713

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計		
当期首残高	△624,425	7,461,304	656	656	-	7,461,960
当期変動額						
剰余金の配当		△259,857				△259,857
当期純利益		792,028				792,028
自己株式の取得	△431,771	△431,771				△431,771
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△656	△656	4,845	4,188
当期変動額合計	△431,771	100,399	△656	△656	4,845	104,588
当期末残高	△1,056,197	7,561,704	-	-	4,845	7,566,549

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,348,069	1,096,912
減価償却費	220,352	282,904
減損損失	-	27,080
株式報酬費用	-	4,845
デリバティブ評価損益(△は益)	△300	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	200	2,316
退職給付引当金の増減額(△は減少)	99,702	29,117
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33,271	△56,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,964	24,276
受取利息及び受取配当金	△503	△332
支払利息	380	212
為替差損益(△は益)	△17,784	1,741
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,739	△959
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△925
有形固定資産除却損	5,339	1,461
無形固定資産除却損	-	38
売上債権の増減額(△は増加)	△1,145,681	△1,266,131
たな卸資産の増減額(△は増加)	△444,804	△466,555
仕入債務の増減額(△は減少)	713,334	1,781,192
その他	△173,653	101,503
小計	644,146	1,561,895
利息及び配当金の受取額	472	262
利息の支払額	△367	△194
法人税等の支払額	△353,978	△516,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,272	1,045,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,806	△367,956
有形固定資産の売却による収入	-	1,088
無形固定資産の取得による支出	△1,445	△6,583
投資有価証券の売却による収入	21,739	997
差入保証金の差入による支出	△21,346	△4,886
差入保証金の回収による収入	12,901	3,042
貸付けによる支出	△50,000	-
貸付金の回収による収入	5,000	12,000
その他	10,741	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,215	△362,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△56,632	△55,799
自己株式の取得による支出	△623,806	△431,771
配当金の支払額	△259,247	△259,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△909,686	△746,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,784	△1,741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△796,845	△65,471
現金及び現金同等物の期首残高	6,095,024	5,298,179
現金及び現金同等物の期末残高	5,298,179	5,232,708

（5）財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、商品分類に応じて「不整脈事業」、「虚血事業」、「その他」に区分されますが、主力事業である「不整脈事業」は販売代理店業を、「虚血事業」は国内総代理店業及び販売代理店業を営んでおり、事業毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

そのような状況から、当社は「不整脈事業」及び「虚血事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不整脈事業」は、心臓ペースメーカ、ICD(植込み型除細動器)、電極カテーテル、アブレーション(心筋焼灼術)カテーテル等を販売しております。「虚血事業」は、国内総代理店業として「エキシマレーザ血管形成システム」等を販売しており、販売代理店業として冠動脈ステント等を販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計 (注)2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,397,759	3,647,628	39,045,387	1,334,701	40,380,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	35,397,759	3,647,628	39,045,387	1,334,701	40,380,089
セグメント利益	4,260,381	1,084,997	5,345,379	185,903	5,531,283

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。

2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当事業年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計 (注)2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,748,516	3,983,473	42,731,990	1,921,779	44,653,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	38,748,516	3,983,473	42,731,990	1,921,779	44,653,770
セグメント利益	4,392,207	859,973	5,252,181	282,527	5,534,709

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。

2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	4,184,353	不整脈事業

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	5,067,144	不整脈事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	不整脈事業	虚血事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	27,080	—	—	—	27,080

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）		当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	
1株当たり純資産額	689円18銭	1株当たり純資産額	736円24銭
1株当たり当期純利益	88円46銭	1株当たり当期純利益	75円56銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注）1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 （2019年3月31日）	当事業年度末 （2020年3月31日）
純資産の部の合計額（千円）	7,461,960	7,566,549
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	7,461,960	7,566,549
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	10,827,379	10,277,356

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	974,181	792,028
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	974,181	792,028
期中平均株式数（株）	11,012,316	10,481,747
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第6回新株予約権 新株予約権の数 1,530個 （普通株式 153,000株）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。